

基 礎 分 野

- 1 科学的思考の基盤
- 2 人間と人間生活の理解

1. 科学的思考の基盤

科目名 生物学 単位数 1 単位 15 時間
 科目区分名 科学的思考の基盤
 開講期 1 年次 前期
 教員名 村井 達生

授業概要：宇宙の無数の星の中で、地球は生物が棲むことが証明されている唯一の星である。原始の地球が出来、最初の生命が誕生してから約 38 億年という長い年月をかけて生命は進化してきたが、地球上の生物はすべて太陽系の地球という環境にしか生息できない。生命の歴史に支えられ、生物環境(生態系)に適応して進化したものが生物である。
 地球上の生物、この生命現象の共通性や特異性を理解し、生物と環境のかかわりから、地球環境とヒトの過去・現在・未来について推論を含めて学ぶ。

- 到達目標：1 人間の起源と進化について理解する。
 2 ヒトの身体の基本構造について理解する。
 3 細胞の活動と寿命について理解する。
 4 ヒトの遺伝子について理解する。
 5 ヒトの性と生殖について理解する。
 6 生命科学について具体例の中から理解する。

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	細胞・細胞説…「生命の単位」、細胞のつくり、核の働き	講義
2	細胞(各器官)、半透膜の性質、細胞膜の働き	講義
3	酵素、細胞の分裂・染色体	講義
4	動物の組織、生殖の方法、減数分裂、ヒトの精子・卵	講義
5	遺伝、ヒトの ABO 式(血液型)、性の決定、DNA による形質支配	講義
6	刺激に対する反応、感覚の成立、反応、適刺激、視覚と器官	講義
7	個体の恒常性：ホメオスタシス、脊椎動物の体液、血液の組成と働き、生体防衛、免疫	講義
8	まとめ 筆記試験(50 分)	

評価方法 筆記試験 100 点

テキスト 理解しやすい生物 生物基礎収録版 (文英堂)

科目名 生活科学 単位数 1 単位 30 時間
 科目区分名 科学的思考の基盤
 開講期 1 年次 前期
 教員名 嶋中 真理子

授業概要：科学・技術の進歩とともに、日常生活の中にもこれまで以上の技術革新の波が押し寄せている。この波に対応するためには、基礎的な理論の背景を理解することが必要である。私たちが生活する上で、身近な、誰もが知っているような現象を、物理学の論理を通して科学的な視点でとらえる。どのようなプロセスで物事が考えられるのか、なぜそのような結果を生じるのか、どのように表現をするのかを説明する「考え方の過程」を学ぶ。この学習を通して日常生活においても考え方の筋道を立てること、自分の考えをはっきり伝える感覚を身につける。

- 到達目標：1 力学（力とつりあい、浮力、回転力、圧力など）と私たちの生活について理解する。
 2 熱・熱源について理解する。
 3 波動（光・放射線）について理解する。
 4 環境問題を科学的に取り上げ、関心を深める。

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	・力とつり合い	講義
2	・浮力と回転力	講義
3	・圧力	講義
4	・熱	講義
5	・身近な熱源	講義
6	・溶液	講義
7	・光	講義
8	・放射線	講義
9	・放射線 ・実験説明	講義
10	・サイフォン ・体圧測定	・熱源 ・相変態
11		
12	・ビデオ（合成洗剤のない暮らし） ・洗剤を調べる	講義 演習
13	・比熱の測定	・ビデオ(環境問題)の視聴 ・コーヒーサイフォンでコーヒーを入れる
14		
15	まとめ 筆記試験(50分)	

評価方法 筆記試験 75 点 実験書 25 点

テキスト 毎回資料を配布する 完全版 ベッドサイドを科学する (学研)

科目名 心理学 単位数 1 単位 30 時間
 科目区分名 科学的思考の基盤
 開講期 1 年次 前期
 教員名 脇川 貴臣

授業概要：人間を特徴づけるものは、脳の進化と密接な関係のある複雑な心理現象である。
 学習、記憶、知覚、動機づけ、感情、社会心理、ストレスをベースに心の法則を知り、心のはたらきの科学を学ぶ。また観察可能な行動を理解することをおして、医療の場における人間の反応に対し、行動科学的介入ができるための基礎的知識を学ぶ。

- 到達目標：1 心理学の概要を知る。
 2 心理学の基本法則（感覚・知覚、学習と記憶、思考・言語・意識）を学ぶ。
 3 人間の行動（動機づけ、性格、対人関係）を学ぶ。
 4 発達と発達障害、知能について学ぶ

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	1 章 歴史と方法	講義
2	2 章 感覚と知覚：感覚について	講義
3	2 章 感覚と知覚：知覚について	講義
4	3 章 学習と記憶：学習とは、学習理論、古典的条件づけ	講義
5	3 章 学習と記憶：条件づけ（道徳的）観察学習、動機づけなど	講義
6	3 章 学習と記憶：動機づけ、記憶の過程の種類	講義
7	3 章 学習と記憶：記憶の変化 忘却の理解など	講義
8	4 章 思考・言語・意識：意識について	講義
9	4 章 思考・言語・意識：思考とは、言語とは	講義
10	5 章 動機づけ・情動	講義
11	5 章 動機づけ・情動：情動について 6 章 性格と人格	講義
12	7 章 対人関係、集団	講義
13	8 章 発達：発達とは、発達段階、発達の特徴（各発達段階）	講義
14	9 章 知能と智能検査：知能とは、知能検査の成立経過、知能検査の指数、知能障害	講義
15	まとめ 筆記試験(50分)	

評価方法 筆記試験 100 点

テキスト 対人援助と心のケアに活かす心理学（有斐閣）

参考書

科目名 教育学 単位数 1 単位 30 時間
 科目区分名 科学的思考の基盤
 開講期 3 年次 後期
 教員名 曾我部 延孝 武田 三花

授業概要：人間は教育により人間として生きていく能力を獲得する。社会もまた教育された人間によって構成される。過去の文化遺産を現在に適応させ、未来を創造するのを担う教育について学ぶことは、人間を理解するうえで重要な要素である。人間にとっての教育—学習の意義を学ぶとともに、指導技術や生涯学習についても幅広く学ぶ。

- 到達目標：1 教育—学習の意義について理解する
 2 教育の構造と機能について理解する。
 3 現代社会と教育の課題を考え意見を述べることができる。
 4 教育の方法について理解できる。

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	教育学の概説 「教育学を学ぶにあたって」「教育のあり方」「教育の種類」 生活の中の教育学(1)	講義
2	学校はなぜできたのか(1) 『第三の波』から教育の過程を考察する」 生活の中の教育学(2)	講義
3	学校はなぜできたのか(2) 『第二の波』の歴史過程で教育を考える」 生活の中の教育学(3)	講義
4	学校はなぜできたのか(3) 「教育と第三の波(情報化社会、情報革命の中で)」 生活の中の教育学(4)	講義
5	日本の教育～過去・現在・未来～(1) 「寺子屋の世紀から近代」 生活の中の教育学(5)	講義
6	日本の教育～過去・現在・未来～(2) 「戦後の教育改革～現代の教育」 生活の中の教育学(6)	講義
7	日本の教育～過去・現在・未来～(3) 「学校 ICT」「21 世紀は人権の世紀」「これからの教育にどう向き合っていくか」 生活の中の教育学(7)	講義
8	看護師が担う健康教育①	講義
9	看護師が担う健康教育②	講義
10	演習オリエンテーション	演習
11	患者指導作成用紙に沿って教育計画作成	演習
12		
13	発表 7G×20分 講評 まとめ	演習
14		
15	まとめ レポート作成・提出 (50分)	

評価方法 筆記試験 50 点
 レポート 50 点

テキスト 学内資料を配布する

参考書 授業中指示する

科目名 論理学 単位数 1単位 30時間
 科目区分名 科学的思考の基盤
 開講期 1年次 前後期
 教員名 森 誠治

授業概要：論理学の授業では知識を学ぶのではなく、考え方を学びます。たぶん、このような授業は受けたことがないでしょう。これからも受ける機会はないでしょう。私たちの周りにあるモノ（者・物）は常に変化しています。その変化は単独では起きません。必ず、他のモノとのつながりの中で変化します。その変化は現象しますので、肉眼で視ることができます。しかし、その奥にあるつながりは肉眼では見えません。頭の中の目を鍛えないと見えてきません。まずは柔軟性を鍛えます。対象には時間的なつながりと空間的なつながりがあります。それらを見つけられる、過程的な考え方と構造的な考え方を「問いの枠組み」として鍛えます。今まで見えなかったことが見えてくる、そういう感動をたくさん味わって下さい。「看護とは」という本質から現象の意味を見つけられる力を育てましょう。

- 到達目標：1 他教科のテキストが読める力を育てる。
 2 考え方を知り、使えるようにする。
 3 立場の変換能力を鍛える。

回数	授業内容	授業方法
1回～3回	論理学の授業には大きな柱が3本あります。 1本目。他の教科のテキストが読める力を育てる。どの教科書も難しい。しかし、書かれている内容を整理できれば理解が進みます。どういう視点で整理すれば良いのか。4つの考え方です。	
4回～12回	2本目。その4つの考え方（上り下り、対比、因果関係、時間軸）の中の「上り下り」を中心に学びます。その勉強の助けとなる「円錐モデル」という教具を皆さんに1つずつ差し上げます。それを使って「看護にする」とはどういうことかを学びます。さらに弁証法の三大法則（対立物の相互浸透、量質転化、否定の否定）にも触れます。清拭の過程で起きている相互浸透とは。	
13回～14回	3本目。立場の変換です。これはナイチンゲールの三重の関心です。これを認識論の視点から学びます。	
15回	毎回交互に話題にするのが『ナイチンゲール言葉集』と「私のちょっといい話」です。	
	他の教科のテキストが読めるようになる力をつける 4つの考え方と弁証法の3つの法則 立場の変換（もう一人の自分、ナイチンゲールの三重の関心、あなたと私） まとめ 筆記試験（50分）	

学習上の留意点 私たち一人一人の頭は素晴らしくよく出来ています。自分の頭を上手にノックできれば、「私って何て賢いの！」と感激してしまいます。頭も「ご主人様、私の頭を使ってくれてありがとう」と感謝しています。この授業では「予習は泥棒の始まり」と考えます。「今、ここで考える」ワクワク感を大事にします。グループワークの中で、「どう話したらメンバーに分かってもらえるか」「どう質問したら、もっと話してもらえるか」も工夫します。「相手がいるから私は育つんだ」を実感します。

宿題や試験のあり方を毎年工夫しています。皆さんが「解いてみたい」という課題を用意します。毎時間、頭が痛くなるはずですが。前日はぐっすり休んでおいて下さい。

評価方法 筆記試験 100点

授業中にやる小テストと最後にやる総合テストの合計点でつける予定です。テストは採点する私が楽しめるような内容にします。

テキスト ナイチンゲール言葉集－看護への遺産（現代社）

2. 人間と生活・社会の理解

科目名 文学 単位数 1単位 30時間

科目区分名 人間と生活・社会の理解

開講期 3年次 後期

教員名 井川 理

授業概要：人間は共通性と多様性をもつ存在である。経験もまた他者との共通性を持ち、一方でその人固有のものでもある。人間の様々な生き方や感性について文学作品をとおして考える機会とし、自分自身の内面に向かった洞察を深め、同時に他者及び人間総体について理解を深める。学生になじみやすい題材を基に人間にとっての「物語り」とその中に込められる意味や感覚を読み取る力を養う。

- 到達目標：1 文学の歴史を知る。
2 作品の解釈の方法を知る。
3 文学作品に対し、作品の内容を理解でき読後感を述べることができる。

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	語り継ぐ文学作品 おとぎ話の中から－三大太郎の物語	講義 演習
2	アリと蟬のこと 童話「アリとキリギリス」	講義 演習
3	シンデレラ「ガラスの靴」の意味と物語の変化	講義 演習
4	宮崎駿の世界 “照葉樹林”との関わり 人物造型について「虫めづる姫君」との関わり	講義 演習
5	宮崎駿の世界 人物造型について「ギリシャ神話」との関わり 思想の反映について 七夕の話	講義 演習
6	宮崎駿の思想	講義 演習
7	「診療室にきた赤ずきん」を読んで感想文を書く	講義 演習
8	「診療室にきた赤ずきん」について 多角的な物の見方	講義 演習
9	多角的な物の見方を考える 芥川龍之介の「藪の中」	講義 演習
10	芥川龍之介の「藪の中」と黒澤明「羅生門」との比較	講義 演習
11	「藪の中」の主題 「ER」を観て立場を考えて物事を見る	講義 演習
12	「ER」を観て記事を書く	講義 演習
13	ファンタジーについて	講義 演習
14	「ポビーとディンガン」 辻仁成「ミラクル」	講義 演習
15	まとめ 筆記試験(50分)	

評価方法 感想文

筆記試験 100点

テキスト 毎回資料を配布する

参考書 授業中に指示

科目名 人間関係論 単位数 1単位 30時間
 科目区分名 人間と生活・社会の理解
 開講期 1年次 前期
 教員名 岸 良範

授業概要：人間関係は人と人との関係性の上に成り立っている。他者や自分と出会うことは相手と自分の同じ部分を見つけることではなく「異なること（もの）」と出会いながら一人一人を大切にすることを知る機会である。異なることを見つけたり受け入れたりしていくことは、時に大きな喜びとなったりまた苦しみともなる。その過程を一人で歩むのではなく他者と共にケアしながら歩む。それが互いの生を豊かにすることとなる。ケアは相互的に生きあうことによってその意味が活かされるということを宿泊研修体験をとおして学ぶ。

- 到達目標：1 人間および人間関係のあり方とその過程が理解できる。
 2 人間関係を円滑に保つさまざまな技法について学び、自己の成長と、良好な対人関係に役立てることができる。
 3 宿泊を通じてクラスメートとの人間関係の形成を体験する。

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	人間関係の中で自分を捉える 出会いゲーム	演習
2	戸外に出て不安・安心・信頼の体験	演習
3	戸外に出て不安・安心・信頼の体験	演習
4	人生ゲーム	演習
5	対話のあり方体験 話が聴けなくなるとき	演習
6	対話のあり方体験 その人との関係で、自分の心の中に何が触発されているか	演習
7	クライアントから見た心理療法 心理的アプローチの基盤	演習
8	クライアントから見た心理療法 心理面接の基本技法	演習
9	思春期の心理学	演習
10	コラージュ作成 評価 交換会	演習
11	コラージュ作成 評価 交換会	演習
12	箱庭作り 評価 交換	演習
13	箱庭作り 評価 交換	演習
14	「セロ弾きゴーシュ」鑑賞	演習
15	レポート作成・提出	

評価方法 レポート

テキスト 毎回資料を配布する

ケアへの出発－援助のなかで自分が見える（医学書院）

参考書

科目名 カウンセリング 単位数 1 単位 30 時間
 科目区分名 人間と生活・社会の理解
 開講期 2 年次 前期
 教員名 吉川 優子 伊坂 亮

授業概要：対人援助が目指していることは、相談者が自分のもつ力、潜在力を十分に発揮して問題を解決することである。またその過程で、その人が持つ成長してゆく力も発揮することである。援助者は、支え、励まし、祈りをもって見守る。あるいは、こちらの判断や考えを伝え、本来その人にある主体的に解決する力を手助けする。しかし、治癒できない病、障害、死という人間には解決できない問題は、それを受け止め、それに捕らわれずに、そのことから自由になり、その人らしく生きることを願う。対人援助におけるケアの実践のために、具体的方法としてカウンセリングを学ぶ。

- 到達目標： 1 カウンセリング理論が理解できる。
 2 カウンセリングの具体的技法が理解できる。
 3 人間関係を共感的に理解でき、援助的人間関係を形成できる。
 4 自分の視点からだけでなく、相手の立場から自分自身のあり方に気づくことができる。

授業計画

回数	授業目的	授業内容	授業内容
1	信頼関係の形成	カウンセリングとは①自己紹介②教科書の説明・授業の流れ③相談・カウンセリングの流れ④学生のニーズ・アンケート 予習テーマ 依存症についての自分の中のイメージ	講義 演習
2	治療・援助・教育の基本形①	依存症の基礎知識①DVD 学習②依存症の分類③どこからが依存症か④家族関係⑤回復の流れ	講義 演習
3	治療・援助・教育の基本形②	共依存症・暴力・虐待①DVD 学習「放送大学」②共依存症は依存症の根っこ③虐待・暴力の分類④子ども・夫婦間・老人・障害者への暴力⑤対人援助職が陥りやすい関係のとり方⑥ジェノグラム（世代間関係図）を作成する	講義 演習
4	治療・援助・教育の基本形③	依存症者の考え方を知る①体験型カードゲームを実施②依存症者の「やめられない」思考を知る③自身の考え方との違いを見つける④看護師として関わるとしたら？⑤相手の自尊心を傷つけないコミュニケーション⑥普段の人間関係の中で活かせることは？	講義 演習
5	回復者のイメージを持つ ①	依存症からの回復①回復者の体験を聴く②Q&A③感想文の作成	講義
6	治療・援助・教育の基本形④	相互援助グループ①DVD 学習「放送大学」「ハートネットTV」②依存症関係の相互援助グループにはどんなものがあるか？③リハビリ施設との違い④回復のプロセス⑤言いつばなし・聞きつばなしのミーティングを体験する⑥ミーティング参加ルールの確認<予習テーマ>ここまでの復習&リカバーウィズダム復習	講義 演習
7	回復者のイメージを持つ②	依存症からの回復①回復者の体験を聴く②Q&A③感想文の作成	講義
8	自己理解 ①	非言語コミュニケーションを体験する①インプロ（即興芝居）のエッセンスを通して 非言語コミュニケーションを体験する インプロ講師による、非言語を意識したコミュニケーションをグループワークを通して体験<予習テーマ>自分の長所について 切にしているもの 信じているもの コミュニケーションでうまくいったこと、うまくいかなかったこと	講義 演習
9	自己理解 ②		
10	自己理解 ③	自己を知る セルフエスティーム①自分を大切にしているか？②自己肯定感について③振り返って、自分をほめる④価値観・信念⑤グループワーク（自分のいいところ）⑥変えたいところをリフレーミング⑦内的会話（何にとらわれているのか） 各自書き出してから、グループワークグループごとにまとめて発表	講義 演習
11	自己理解 ④	伝えることと伝わること①コミュニケーションとは②伝えるために知っておくこと③アサーティブコミュニケーション 簡単なペアワークを含む<予習テーマ>気分転換には何をしているか？入学を決めたきっかけ	講義 演習

12	自己理解 ⑤	セルフケアとバーンアウト①セルフケアとは②バーンアウトとは セルフケア、バーンアウトについての講義を聴き自分のイメージをする 各自書き出してから、グループワークグループごとにまとめて発表	各 講義 演習
13	自己理解 ⑥	なぜ私はNsになりたいのか①職業選択について②自分を振り返ってみよう ③Nsになったら？その先は？ 各自書き出してから、グループワークグループごとにまとめて発表 ＜予習テーマ＞ここまでの振り返り	各 講義 演習
14	自己理解 ⑦	マイ・ストーリー①正当な自己評価②個人の物語③14回のまとめ④テスト の説明	講義 演習
15	まとめ 筆記試験		

評価方法 筆記試験 100点

テキスト 毎回資料配布

人生にいかすカウンセリング--自分を見つめる人とつながる (有斐閣)

CoDA ミーティングハンドブック (コーダジャパン)

リカバリー・ウィズダム-回復の知恵- (埼玉ダルク)

参考書

科目名 生活と社会学 単位数 1単位 30時間
 科目区分名 人間と生活・社会の理解
 開講期 1年次 前期
 教員名 村田 隆三

授業概要：近世から現代の社会の成り立ちを、社会的出来事や社会制度の目指すものと、そこに暮らす人々の生活や意識の変遷を中心にたどる。また現代社会における生活や健康を取り巻く社会状況の変化から今日の問題をとりあげ、経済大国となった日本において看護が人々の健康をまもるには、あらたなセーフティネットの構築にどのように寄与することができるのかを問題提起する。

- 到達目標：1 社会存在としての人間を理解する。
 2 個人と集団および組織について理解する。
 3 文化と価値、歴史について理解する。
 4 戦後家族の構造的特徴について理解する。
 5 現代社会における社会病理現象について理解する。
 6 人間の日常生活を文化、経済、教育の視点から理解し健康生活を保障するための社会造りを考えることができる。

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	我々の生活の場 —— 社会、世の中、世間	講義
2	豊かな国日本 —— 「経済的豊かさ」と「豊かな生活」	講義
3	伝統社会の日本 —— 江戸時代（近世）の女性と近代日本の女性	講義
4	〃 —— 「家」社会としての近世と近代	講義
5	〃 —— 近世の庶民生活、共同体・結・講・村八分	講義
6	近代日本の成立 —— 四民平等と華士族・平民	講義
7	近代日本 —— 庶民生活と清潔、衛生	講義
8	〃 —— 戦争と暮らし	講義
9	現在社会の出発点 —— 敗戦からの一歩	講義
10	高度経済成長 —— 経済発展と公害	講義
11	経済大国日本と沖縄	講義
12	日本の「バブル」とアメリカの「金融危機」	講義
13	「グローバルリズム」と格差社会	講義
14	新たなセーフティネットの構築のために	講義
15	まとめ レポート作成	

評価方法 レポート 100点

テキスト 毎回資料配布

参考書

科目名 情報科学 単位数 1 単位 30 時間
 科目区分名 人間と生活・社会の理解
 開講期 3 年次 前後期
 教員名 高山 善文

授業概要: IT 革命の真只中にある現在、私たちの生活の中にコンピューターが急速に取り込まれている。専門職業人として、社会の急激な変化に対応し、また自己研鑽していくためにも必要な情報をいち早く取り入れることが不可欠である。現在、看護界では根拠に基づいた看護 (EBN) 求められ、エビデンスのより高度な情報収集、情報処理能力が要求される。そのために不可欠な PC の構造を学び、操作方法を習得する。

- 到達目標: 1 情報科学の基礎的知識を理解する。
 2 コンピューターの基本的機能について知る。
 3 看護における情報処理の実際を知る。

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	パソコンの使用環境、キーボード・マウス操作、ホームポジションとブラインドタッチ	講義 演習
2	文字の規格と文字入力、IME を活用した特殊な文字入力、ファンクションキーを活用したスムーズな文章入力	講義 演習
3	ワープロソフトの使用環境とカスタマイズ、ファイルの保存・バックアップ、ショートカットキーを活用したスムーズな文字編集	講義 演習
4	テキスト入力の実例、テキスト・段落に対する各種編集(フォント・フォントサイズ・装飾・インデント・行間・均等割付)	講義 演習
5	表の入力と表の編集、各種オブジェクトの挿入と編集(ワードアート・クリップアート・オートシェイプ)	講義 演習
6	ワープロソフトに関するこれまでの総合復習的課題作成	講義 演習
7	表計算ソフトの使用環境とカスタマイズ、行・列の書式設定と選択の仕方、セルへの文字入力とフィルハンドル の活用	講義 演習
8	セルへの計算式入力(4 則)、オートサムボタンでの合計・平均式入力、セルの相対参照でこと足りる程度の実例課題	講義 演習
9	セルの参照(相対参照・絶対参照・方参照)、それぞれのセル参照に合った実例課題(方参照で九九の作成)	講義 演習
10	関数の入力、複雑な関数の引数、グラフウィザードを使ってグラフ作成	講義 演習
11	表計算ソフトに関するこれまでの総合復習的課題作成	講義 演習
12	形式を選択しての貼り付け、ワープロ・表計算ソフトに関するこれまでの総合復習的課題作成	講義 演習
13	ブラウザを用いての各種検索、ブラウザでキャプチャした画面のペイント上での加工、ワープロソフトに加工 画像貼付編集	講義 演習
14	プレゼンテーションソフトの概要、簡単な箇条書き網目のプレゼンテーション作成	講義 演習
15	試験(ブラウザでの検索・表計算ソフトの操作技術・ワープロソフトの総合)	

評価方法 成果物 100 点

テキスト 毎回資料配布

参考書

科目名 英 語 I 単位数 1 単位 30 時間
 科目区分名 人間と生活・社会の理解
 開講期 1 年次 前期
 教員名 牟田口 恵子

授業概要：近年の国際化、情報化時代において英語はより多くの外国人とのコミュニケーションを可能にする言語である。また各医療機関や地域においても外国人と接する機会が増えてきている。こうした社会の要望に応じて、人間を理解する上で、グローバルな視野を身につけ、また、情報の収集、伝達に於けるコミュニケーション手段として看護英会話の基礎を学習する。

到達目標：1 英語によるコミュニケーション能力（読む・書く・聞く・話す）を学ぶ。
 2 読解力・聴解力・会話力を増強する。

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	医療英語, to-不定詞と動名詞, 名詞-名詞=形など Unit1-1 と 1-2 の Dialogue 辺まで	講義
2	Unit1-1 Dialogue-発音, 会話練習, Role Playing Key Sentences, Key Words and Phrases-発音練習 Exercise1-4 First name と Last name の説明	講義
3	Unit1-1, Unit1-2, 小テスト First name と Last name を問う会話練習, Listening テスト Dialogue2 つの和訳 Song Listening(Elvis Presley)	講義
4	Unit1-2, 小テスト, 傷の様々な形容詞の紹介, 傷について Where? How much? What kind? When?のそれぞれの問い方 Song Listening(Elvis Presley)	講義
5	Unit1-2 Dialogue づくり, 練習, Listening Unit1-3 Dialogue の訳, 説明, 発音練習 Song Listening(Elvis Presley)	講義
6	Unit1-3 Exercise3, 4 Master the Expressions! ダイアログ (Role Playing) クロスワード	講義
7	Unit1-3 Exercise5, Listening Unit1-4 ダイアログ Exercise1-4 Master the Expressions!	講義
8	Unit1-4 More about phone numbers! Exercise5, Listening Unit1 Quiz 問診	講義
9	Unit2-1 Dialogue, Exercise1-4 Master the Expressions! ロールプレイング等	講義
10	Unit2-1 Exercise5, Listening 小テスト Unit2-2 Dialogue2, Exercise1-3	講義
11	Unit2-2 Exercise4, Master the Expressions! 行き方の表現 go straight ahead, turn left(right) など 場所を示す表現 across from, behind, beside など	講義
12	Unit2-2 Exercise5, Listening Unit2-3 Dialogue, Exercise1-3 慎重・体重・体温の言い方	講義
13	Unit2-3 Exercise4-5 Master the Expressions! Listening 体つきの表現	講義
14	Unit2-4 Dialogue4 Exercise1-4 血圧について head ache, toothache, backache, etc Unit2 Quiz	講義
15	まとめ 筆記試験(50分)	

評価方法 講義終了時ごとのミニテスト及び筆記試験 100 点

テキスト 毎回資料を配布する
 看護英会話標準テキスト (日総研出版)

参考書

科目名 英 語 II 単位数 1 単位 30 時間

科目区分名 人間と生活・社会の理解

開講期 1 年次 後期

教員名 増田 レティシア

授業概要：英語 I で学習した英会話の基礎を発展させ、臨牀場面で必要な看護英語を学び、表現力をより豊かにすることをねらいとする。

到達目標：1 看護に必要な英会話の基本を学ぶ。

2 医学・看護用語を学び病院における英会話を習得する。

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	Unit 3-1	講義
2	Unit 3-2	講義
3	Unit 3-3 採血の単語	講義
4	採血の練習 グループ問題のビデオ視聴	講義
5	Unit4-1 採血の単語のクイズ	講義
6	Unit4-2 採血の練習	講義
7	Unit4-3 グループ問題	講義
8	Unit5-1 グループ問題台本	講義
9	Unit5-2 グループ問題を練習	講義
10	Unit5-3 グループ問題を練習	講義
11	Unit5-4 グループ問題を練習	講義
12	試験のヒントと説明 グループ問題を練習	講義
13	グループ問題	講義
14		
15	まとめ 筆記試験(50分)	

評価方法 筆記試験 100 点

テキスト 毎回資料を配布する

看護英会話標準テキスト (日総研出版)

参考書

科目名 英 語 III 単位数 1 単位 30 時間

科目区分名 人間と生活・社会の理解

開講期 2 年次 前期

教員名 増田 レティシア

授業概要：英語 I, II の学習を実践的に使い、看護場면을イメージしながらコミュニケーションできることをねらいとする。

到達目標：1 看護場面を取り上げて、そこで必要な英会話ができる。

2 グループで課題を決めロールプレイし、自分の英会話によるコミュニケーションを評価することが出来る。

授業計画

回数	授業内容	授業方法
1	Unit8-1 review tests Appointment and Reservation Listening	講義
2	Unit8-2 本文/words/sentences symptoms	講義
3	Unit8-2 本文 symptoms Fluid	講義
4	Unit8-3 words/sentences/本文 Listening & speaking	講義
5	Unit7-2 review Listening Unit7-3 Frequency	講義
6	Unit7-3 本文/words/sentences How questions	講義
7	Unit7 review quiz Listening	講義
8	Unit8-1 Fractions 本文/words/key sentences	講義
9	Unit8-1 本文 tests	講義
10	Self-introduction 月/日にち/序数	講義
11	Unit7-1 本文/ key words/ key sentences song “You Raise Me Up”	講義
12	Unit7-1 住所表記 診療科名 Listening	講義
13	Unit7-2 診療科 症状の表し方	講義
14	Unit7-2 診療申込表記入 Adjectives of degree ANARAN TINE	講義
15	まとめ 筆記試験 (50 分)	

評価方法 筆記試験 100 点

テキスト 毎回資料を配布する

看護英会話標準テキスト (日総研出版)

参考書